

科目名	臨床病態生理学講義				分野・必選別・単位数	専門科目 (臨床検査医学)	選択	2単位
担当教員	◎教授 望月 眞					科目ナンバー	T4C105	
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義	
授業の概要	<p>学士または専門学校の教程で学んだ解剖学、病理学の知識を応用して、さまざまな課題に対して教員と質疑応答ができるようにプレゼンテーションの準備を行う。</p>							
授業の到達目標	<p>①さまざまな疾患の位置づけを病理学的に区分できる。 ②専門とする検査法の各疾患に対する応用の可能性と限界について説明できる。 ③専門とする検査法と疾患の形態学的側面について関連を述べられる。 ④修士の名にふさわしく、講義に頼らず独力で学習方針を立てられる。</p>							
授業計画	回数	担当者			行動目標			
	1	望月 眞	教授	疾患の診断が準拠する解剖学、病理形態学を説明できる。(循環器)				
	2	望月 眞	教授	疾患の診断が準拠する解剖学、病理形態学を説明できる。(呼吸器)				
	3	望月 眞	教授	疾患の診断が準拠する解剖学、病理形態学を説明できる。(消化器)				
	4	望月 眞	教授	疾患の診断が準拠する解剖学、病理形態学を説明できる。(泌尿器)				
	5	望月 眞	教授	疾患の診断が準拠する解剖学、病理形態学を説明できる。(神経・内分泌)				
	6	望月 眞	教授	さまざまな疾患に対する各検査法の所見を予測できる。(循環器)				
	7	望月 眞	教授	さまざまな疾患に対する各検査法の所見を予測できる。(呼吸器)				
	8	望月 眞	教授	さまざまな疾患に対する各検査法の所見を予測できる。(消化器)				
	9	望月 眞	教授	さまざまな疾患に対する各検査法の所見を予測できる。(泌尿器)				
	10	望月 眞	教授	さまざまな疾患に対する各検査法の所見を予測できる。(神経・内分泌)				
	11	望月 眞	教授	指定された実際の症例と検査法の関連を総合的に検討できる。(循環器)				
	12	望月 眞	教授	指定された実際の症例と検査法の関連を総合的に検討できる。(呼吸器)				
	13	望月 眞	教授	指定された実際の症例と検査法の関連を総合的に検討できる。(消化器)				
	14	望月 眞	教授	指定された実際の症例と検査法の関連を総合的に検討できる。(泌尿器)				
	15	望月 眞	教授	指定された実際の症例と検査法の関連を総合的に検討できる。(神経・内分泌)				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	自ら専門とする検査の新しい応用、方法の改善、知見の変更などについて最新の医学論文を読んで、その要点を説明できるようにしておく。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。						
教科書	必要な時は随時指示する。							
参考書	必要な時は随時指示する。							
成績評価の方法および基準	症例検討の口頭でのプレゼンテーション50%、レポート50%							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							